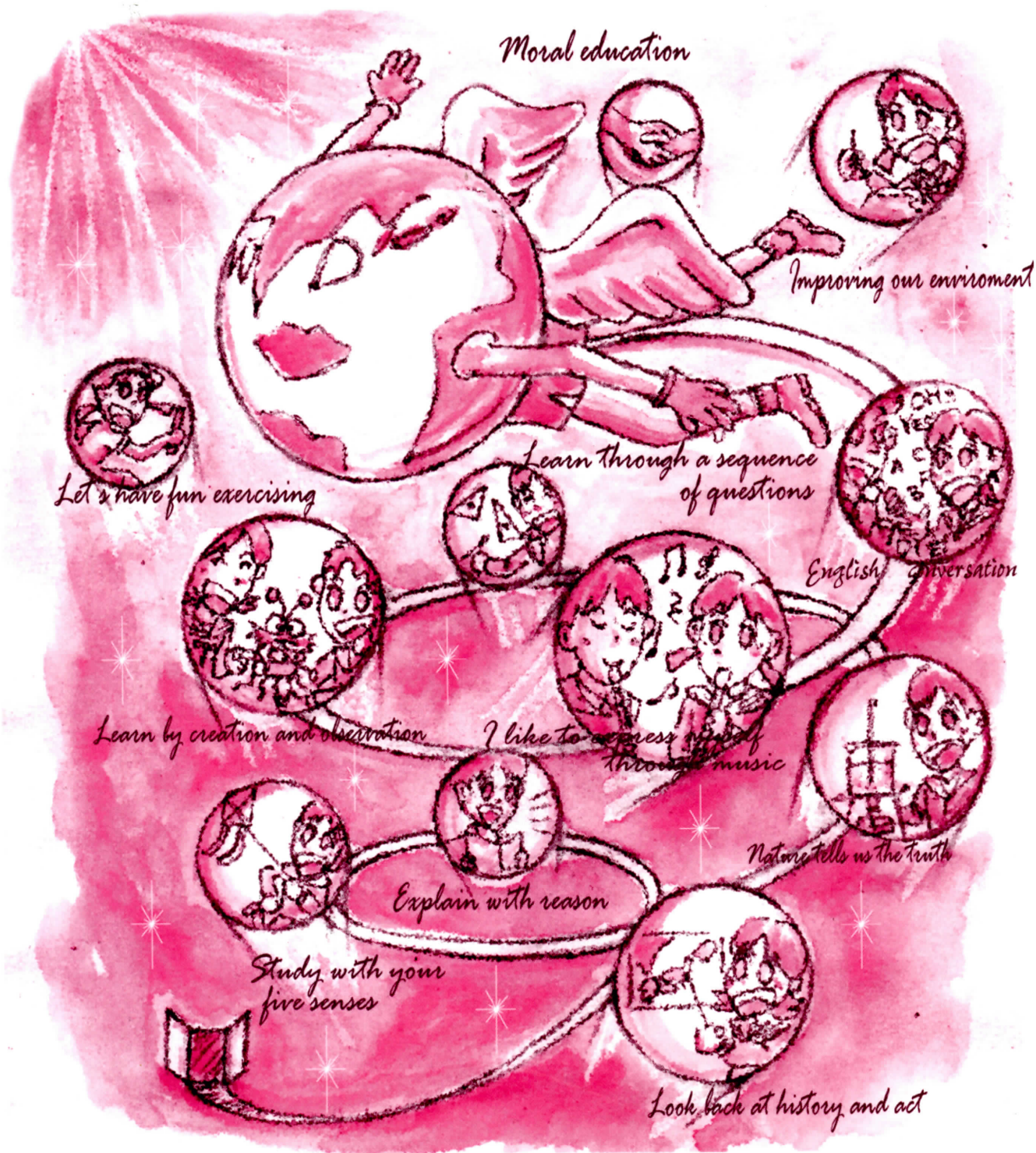


自ら学び続ける授業の創造Ⅲ

～学ぶ意欲を高める学習指導～



平成20年

鹿児島大学教育学部
附属小学校

御 挨拶

鹿児島大学教育学部附属小学校

校 長 今 林 俊 一

本年3月末に、小学校学習指導要領が改正され、公示されました。今回の改正では、教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえた「生きる力」の育成、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスの重視、道徳教育や体育などの充実による豊かな心と健やかな体の育成などが改善の基本的な考え方として示されています。すなわち、「知識基盤社会」と呼ばれる現代において、「生きる力」を支える「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の調和的な育成がこれまで以上に求められていると言えます。

本校におきましても、これまで、「生きる力」としての「確かな学力」、すなわち学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力の育成を重視した教科指導の充実に向けて研究を進めてまいりました。

平成12年度から3年間は、「共に学びをつくる授業の創造」という研究テーマの下で、子どもの思考力、判断力、表現力等の資質・能力をよりよく身に付けるための授業づくりについて研究を進めてまいりました。

また、平成15年度からは3年間にわたり『わかる・できる』喜びや楽しさを味わう授業の創造の研究テーマの下、子どもたちにとって魅力的な学習内容を準備し、「わかった・できた」という喜びや楽しさを味わうことのできる授業づくりについての研究を進めてまいりました。その中で、子ども一人一人の思考力、判断力、表現力をよりよく育てるための学習内容の研究や指導と評価の在り方についての研究を行い、三年次には、子どもが深くわかったりよりよくできたりするとともに、学んだことを次の学習や生活に生かせる最適な学習内容の設定について提案いたしました。

さらに、一昨年度からは、「自ら学び続ける授業の創造」という研究テーマを掲げ、「確かな学力」を身に付けるために、思考力・判断力を発揮させる中で、知識・理解や技能を確実に身に付けることのできる授業づくりについて研究に取り組みました。一年次には自ら学び続ける具体的な子どもの姿を設定し、二年次には各学習過程や領域等において培う力を明確にすることでこれまでの学習内容を見直してまいりました。

三年次となる今回の公開研究会では、子どもの学ぶ意欲を一層高めるために、学ぶ意欲を内面から支えたとともに問題解決を図ろうとする際に感じる喜びや楽しさのエネルギーとなる感覚の高まりに着目し、学習内容や指導方法を具体化した授業づくりについて提案いたします。

まだまだ明らかにしなければならないことも多く、十分とは言えない研究実践ではありますが、先生方の忌憚らない御教示、御批正を賜り、今後の研究の糧にしていきたいと考えます。

また、本年度の公開研究会では、前文部省初等中等教育局教科調査官であり、現在、広島大学副理事、教育学研究科教授の角屋重樹先生に「これからの学習指導」と題して御講演を賜ります。教育改革が叫ばれる昨今において、大変意義深いことであり、心から感謝申し上げます。

最後になりましたが、御指導、御助言を賜りました県教育委員会、県総合教育センター、市教育委員会、鹿児島大学教育学部の諸先生方、また分科会で司会を務めていただいた先生方に深くお礼を申し上げます。本日の公開研究会で得ましたことを生かし、研究実践を更に深めてまいる所存ですので、今後とも一層の御指導と御協力をお願い申し上げます。

目 次

◇ はじめに

I 研究の立場	3
1 研究の歩み	3
2 本年度の研究の方向	4
II 本年度の研究内容	5
1 学ぶ意欲とは	5
2 学ぶ意欲を高める学習指導とは	6
3 学ぶ意欲を高める学習指導の具体化	7
(1) 学ぶ意欲を高める学習内容	7
(2) 学ぶ意欲を高める指導方法	8
III 研究の成果と課題	12
1 研究の成果	12
2 研究の課題	12
IV 各教科等による研究の具体化と授業プラン例	13
◇ 各教科等の研究主題一覧	13
1 国語科	14
2 社会科	26
3 算数科	38
4 理 科	50
5 生活科	62
6 音楽科	74
7 図画工作科	86
8 家庭科	98
9 体育科	110
10 道 徳	122
◇ 英会話の研究と実践	134
◇ 複式の研究と実践	146